

東日本大震災発生

平成 23 (2011) 年 3 月 11 日。金曜日の午後の図書館内には利用者がおり、読書や勉強など、いつもと変わらない時間が流れていました。

午後 2 時 46 分、突然、立ってられないほどの激しい揺れに襲われました。東北地方太平洋沖地震が発生し、いわき市は震度 6 弱を記録しました。館内では、書架から飛び出した本が散乱し、天井からは照明が落下、剥き出しになったコードからは火花が散っていました。

幸い、図書館利用者に怪我はなく、大きな混乱もなく館外に全員避難することができました。

地震発生後、図書館職員は避難所や安否確認窓口などの災害関係支援業務を優先しながら、落下した図書の整理や、破損資料の修理などを行いました。照明がなく暗いなかでの作業でしたが、ボランティアなどの協力もあり復旧作業を進めることができました。

しかし、4 月 11 日夕方に発生した震度 6 弱の余震で、書架に戻した本がすべて落下してしまいます。翌 12 日にも大きな余震があり、3 度目の落下。1 日も早い開館に向けて、復旧作業を進めていた矢先の出来事でした。その後も続く余震のなか、職員は懸

念に復旧作業を進めました。

5 月 2 日、市北部を巡回する移動図書館「いわき号」が運行を再開しました。同じく 5 月 6 日には、市南部を巡回する移動図書館「しおかぜ」も運行を再開しました。

5 月 23 日、市内の図書館でも比較的被害が少なかった勿来、内郷、四倉図書館が再開、5 月 30 日には照明、空調の復旧工事が完了したいわき総合図書館が再開しました。

書架の転倒に加え、窓ガラスが破損するなど被害が大きかった小名浜、常磐図書館は 6 月 20 日に再開し、これで市内全ての図書館が再開しました。

震災後は、仮設住宅への移動図書館巡回ステーションの増設、避難者等への利用者登録の拡大、防災などをテーマにした講演会の開催、震災記録の展示など、震災の経験をもとに新たな図書館サービスを展開しています。

また、平成 24 (2012) 年 6 月には、震災資料の収集・保存のため、いわき総合図書館に「東日本大震災いわき市復興ライブラリー」を開設し、震災、原発事故に関する情報を発信しています。



左・下)3月11日直後のいわき総合図書館。本はすべて落下し、書架の一部は転倒、照明もほとんどが落下した。



『福島民報』(平成 23 年 6 月 2 日付)



左)東日本大震災いわき市復興ライブラリー